

評価項目	教員の自己評価集計結果		評価委員の評価	
1 幼稚園教育の基本方針と組織	達成度	留意事項	評価点	留意事項
<p>園の教育理念・基本方針を指導計画に反映している 自身の役割分担を理解し組織的な仕事に努めている 地域の文化・自然を理解し保育に取り入れている 安全・衛生についての知識を有し適切に対応できる</p>	<p>A 92%</p>	<p>地域の自然等の活用の仕方について学びたい 満3からの食育プログラムを考えたい 食についてのアンケートを年少で実施、講座に生かした 預かり保育でも園外活動を実施したい 子ども自身の安全意識を高めるプログラムが必要 地域の会の敬老会、ケアホームへの訪問を実施した</p>	<p>A</p>	<p>コロナが明けて地域にかかわる活動ができたことはよかった マスク生活が続いたために、人の表情から気持ちを読み取ることが かしかったり、人に対して緊張がある子もいるので配慮したい 食育について、満3からの子たちへは「噛む」ことを伝えてはどうか 日常的に「お菓子の食べ過ぎ」がなぜいけないかも伝えたい</p>
<p>2 保育内容の確認(全体) 幼稚園教育要領を理解し保育に生かすとともに保護者に 説明できる 子どもの発達状況を情報交換により理解し、必要に応じて 保護者に伝える 会議において積極的に意見を述べる</p>	<p>A 96%</p>	<p>目指す「10の姿」の伝達に不安がある。→クラスだより作成 時に意識して記載する等の手立てが必要 →全園で共通理解をはかるも担当学年でない理解不足も 障 ファシリテーションの必要性→リフレクションシートを使った振り返 りの実施について、充実した研修となる→次年度定期的 に実施することで子ども理解を深めたい</p>	<p>A</p>	<p>ペーパーレス、スマホでの配信はよりすすめて、やりとりを楽にす よい 手書きは手書きの良さもある 「10の姿」はクラスだよりに定期的に掲載することで先生自身も意 識できるし、保護者の目にもとまりやすくなるのでは ※保護者には「10の姿」は、あまり伝わっていない</p>
<p>3 保育内容・実務の確認(個々の保育者) 子どもへの言葉づかいや対応は適切である 発達の状況を踏まえ計画をたてるとともに実践におい ては、子どもの興味関心に応じて柔軟に行う 異年齢でのかかわりに配慮し、環境構成をする その日の保育を振り返り改善に生かす 個人の記録を継続的に行う</p>	<p>A 92%</p>	<p>年齢や子どもの主体性に配慮した言葉がけや丁寧な説明 の必要性→～してみようという言葉がけ 子どもの実態に合わせて活動を組みたいという意識が見られる 他職員との情報交換・記録の共有化→ITの活用 発達課題のある子についての指導計画が丁寧に作成でき るようになった→さんぼみち(ダダ)の施設訪問により個別講習を 受ける→家庭との情報共有が必要→ペアレントトレーニングの実 施</p>	<p>A</p>	<p>先生の言葉がけよりも、子ども同士で良くない言葉使いをすること になる「幼児期は親も一緒に学ぶ期間」という情報発信が欲しい</p>
<p>4 研修と研究 研修で学んだことが保育に生かされている 発達障害についての知識や指導方法を自ら学んでいる いじめ・差別について理解している 発達や学びの連続性を理解し進級、進学について子 どもや保護者に伝えることができる</p>	<p>A 96%</p>	<p>いじめや差別、不登校などは、児童期の課題であるが、研修など 出現状況把握を深め認識を持つべき 進学についての情報は年長担任でなくてももっておくべき 発達課題のある子へのサポートのタイミングを担当と共有す 園長が曳馬小のコミュニケーションスクールの委員になったため 小学区現場の情報が入りやすくなる</p>	<p>A</p>	<p>発達課題がある子へのサポートについて担任との共有はすぐ にす ことリアルタイムでの情報交換が必要では</p>
<p>5 保護者との関係 保護者と連絡ノート、面談、電話相談により連携を図 っている。保護者とともに課題の達成に努める 家庭状況の変化の把握。場合によっては全職員に伝え 情報の共有を図る</p>	<p>A 96%</p>	<p>教員のほとんどが保護者との連携ができていると感じて いるが副担任においては積極性が 必要 家庭状況の把握について非常勤職員においても共通理解が 必要 →園日誌の活用</p>	<p>A</p>	<p>クラスだよりはぜひ続けて欲しい</p>
<p>6 安全点検 園児の引き受け、引き渡しについて手順を理解し安全 に行う</p>	<p>A 90%</p>	<p>昨年度の不審者対応の避難訓練の必要性との意見から、避難 訓練を2回予告なしで実施→教員においては対応に迷う意見 出された</p>	<p>B</p>	<p>不審者対応の訓練は大変良い 迷いが多いほど良いと思う ブランコが出ている期間が短くてこげない子がいることが予想され 安全柵を検討して体験の機会を増やすべき</p>

<p>遊具や設備の取り扱いや安全性を理解している 不審者への対応を共通理解している</p>		<p>子どもへの安全教育について再度確認する 年長児において子どもだけの歩行訓練をした 起震車訓練を実施した</p>		<p>大型積み木のささくれに注意が必要 保護者の駐車場の使い方は何度も伝えていくことが必要</p>
<p>7 <b>諸法規の遵守</b> <b>学校保健法・伝染病予防法</b> 感染症などが発生した場合には保護者に伝えるとともに 消毒などを徹底し予防に努める アレルギー等個々の健康状況を共通理解している <b>消防法</b> 防災計画に基づいて、防災教育を実施する <b>虐待防止法</b> 虐待について理解し、家庭状況を把握する</p>	<p>A 93%</p>	<p>すこやかKIDSの評価についての情報共有が副担も含めて すべき→園全体で振り返りリズム運動などにつなげたい 園の避難計画、自主防災計画について全職員で再確認する ※登降園、園バスにおけるマニュアルの再確認を実施 教育時間がはじまる10:00の時点の園児確認について各クラス での呼名確認は徹底しているが全体での把握について合理的な 方法が必要</p>	<p>A</p>	<p>特になし</p>

※評価について

達成度 100% ~90% A  
90%未満~80% B  
80%未満~60% C  
60%未満~ D

が難

、

ると

識

が気

べき

る